

健診検査センターニュース

No.541 号

検査受託中止のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目の受託を中止させていただくことになりましたので、お知らせいたします。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

受託中止日：平成 27 年 10 月 14 日（水）より受託中止

中止項目：3349 インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド (Intact PINP)

代替項目	3504 I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド (total P1NP)
------	---------------------------------------

新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
さてこの度、下記の検査項目を外部委託項目として新規受託することとなりましたので、お知らせいたします。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

開始日：平成 27 年 10 月 15 日（木）受付分より

開始項目：3504 I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド (total P1NP)

検査方法	ECLIA
採取容器 (採取量)	① 分離剤入り採血管 (全血 2.0ml)
保存方法	室温
所要日数	3 ~ 5 日
実施料	170 点 (D008「内分泌学的検査」の「26」)
判断料	144 点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	溶血の場合、データが低値傾向となります。

▼疾患との関連

●骨粗鬆症

▼関連する主な検査項目

- 骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ (TRACP-5b)
- 骨型アルカリフォスファターゼ (BAP)
- オステオカルシン

●参考文献

日高 好博：医学と薬学 70(2)：357~365, 2013. (検査方法参考文献)
日本骨粗鬆症学会 骨代謝マーカー検討委員会：骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン 2012 年版。

● I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)

骨粗鬆症の治療効果判定、経過観察、診断の補助に有用です。

P1NP は I 型プロコラーゲン-N-プロペプチドの略称であり、I 型コラーゲンの生成過程で、骨芽細胞から血中に放出される分子量約 35,000 の蛋白質です。骨芽細胞分化の初期から産生されるため、BAP 等の骨形成マーカーよりも早期の骨形成を鋭敏に反映します。

P1NP は、骨粗鬆症治療、特に骨形成促進剤である PTH 製剤(テリパラチド)による治療効果の判定やモニタリング、診断補助に有用と考えられています。

本検査は、P1NP の三量体および単量体を検出しますが、単量体はごくわずかであると推察されているため、三量体のみを検出する従来の Intact P I NP との相関は良好です。